

**2020年12月期(FY2020)
通期(4-12月)
連結決算報告**



大幸薬品

**2021年2月
大幸薬品株式会社**



決算期変更による調整について

➤ 当社グループの75期(2020年12月期)は9カ月決算となる

※国内法人(3月決算連結対象)は4-12月の9カ月間、海外法人(12月決算連結対象)は1-12月の12カ月間。

74期-75期 通期 財務報告数値

	2019年				2020年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
国内法人		74期			75期			
海外法人		(前期:2020年3月期)			(当期:2020年12月期)			



➤ 比較参考として75期と同期間の74期を「調整後数値」(参考)とする

※74期調整後数値は監査法人による監査は受けておらず参考情報。

74期-75期 比較参考用 調整後数値

	2019年				2020年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
国内法人		74期				75期		
海外法人		(調整後前期)				(当期:2020年12月期)		

連結經營成績

連結経営成績

- 感染管理事業が伸長し大幅増収増益
- 9ヵ月決算であったものの、過去最高の売上・利益を達成

[百万円]

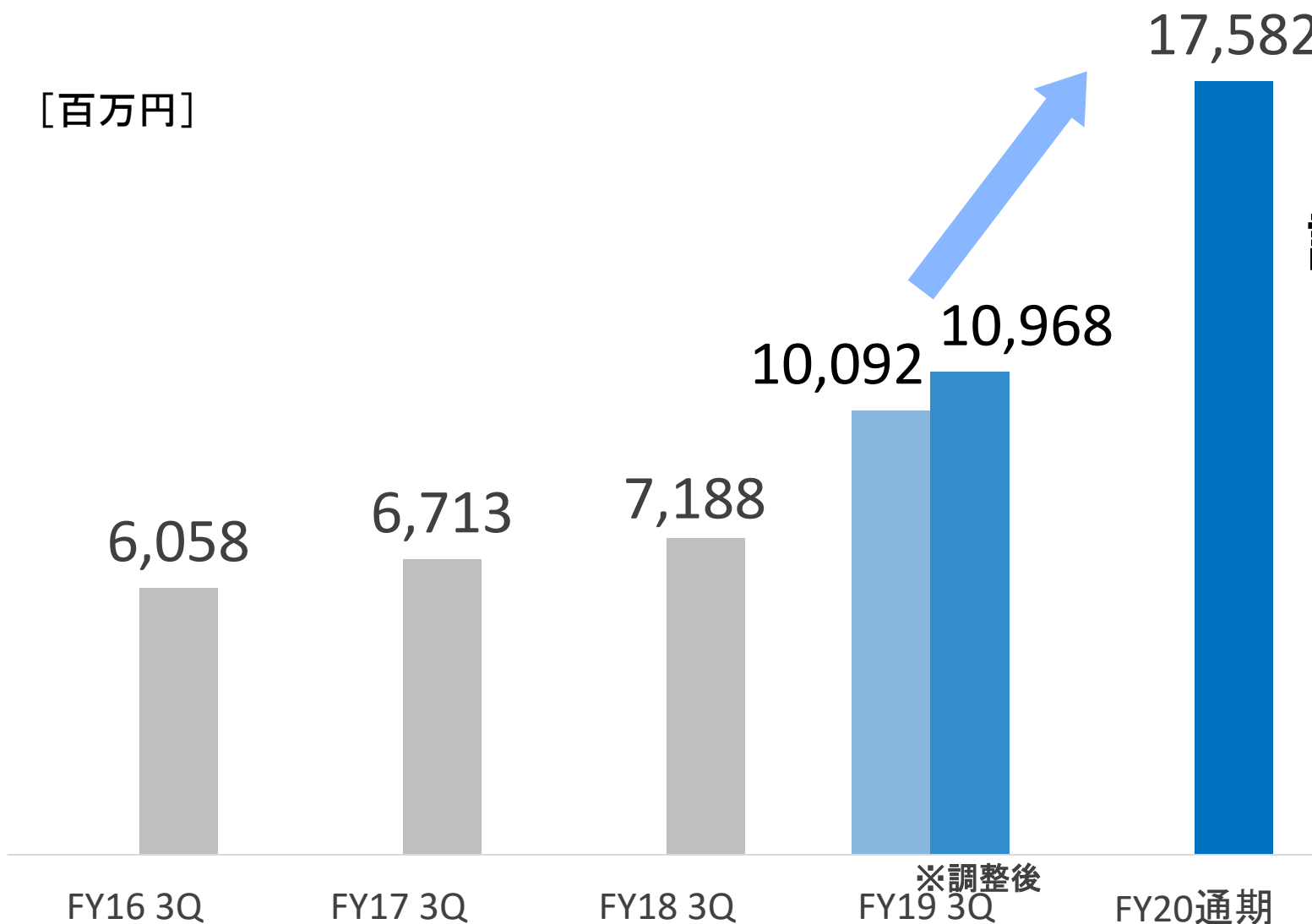
	FY19	FY20	調整後前期比		調整後前期比 増減要因等
	調整後前期	当期	増減	増減率	
売上高	10,968	17,582	6,614	60.3%	医薬)△1,308、感染)+7,921
売上原価(※) (売上高比率)	3,243 29.6%	5,162 29.4%	1,918	59.1%	
売上総利益 (売上高比率)	7,724 70.4%	12,420 70.6%	4,696	60.8%	感染管理事業の売上高大幅増加に伴う利益額増加
販管費 (売上高比率)	4,463 40.7%	6,769 38.5%	2,306	51.7%	
営業利益 (売上高比率)	3,261 29.7%	5,650 32.1%	2,389	73.3%	
経常利益 (売上高比率)	3,121 28.5%	5,454 31.0%	2,332	74.7%	
当期純利益 (売上高比率)	2,175 19.8%	3,851 21.9%	1,675	77.0%	

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

※ FY19調整後前期は国内4～12月の9ヵ月間、海外1～12月の12ヵ月間に調整

連結売上高推移

[百万円]



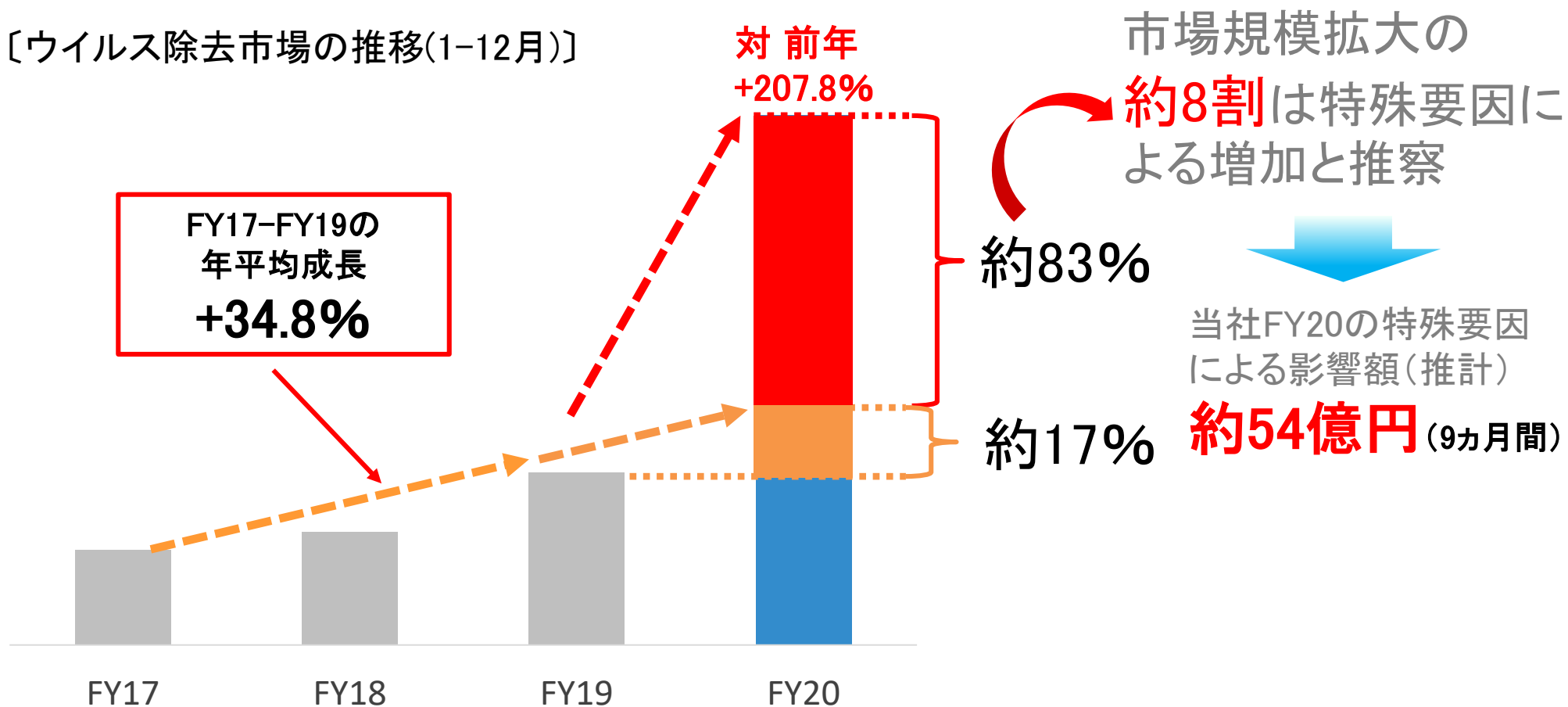
売上高
調整後前年同期比
1.6倍

※ FY19 3Q調整後は国内4～12月の9ヵ月間、海外1～12月の12ヵ月間に調整

当期における需要急増の影響

- FY20は新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言を受け、消費者の衛生管理意識が高まり、ウイルス除去市場の需要が大幅に拡大

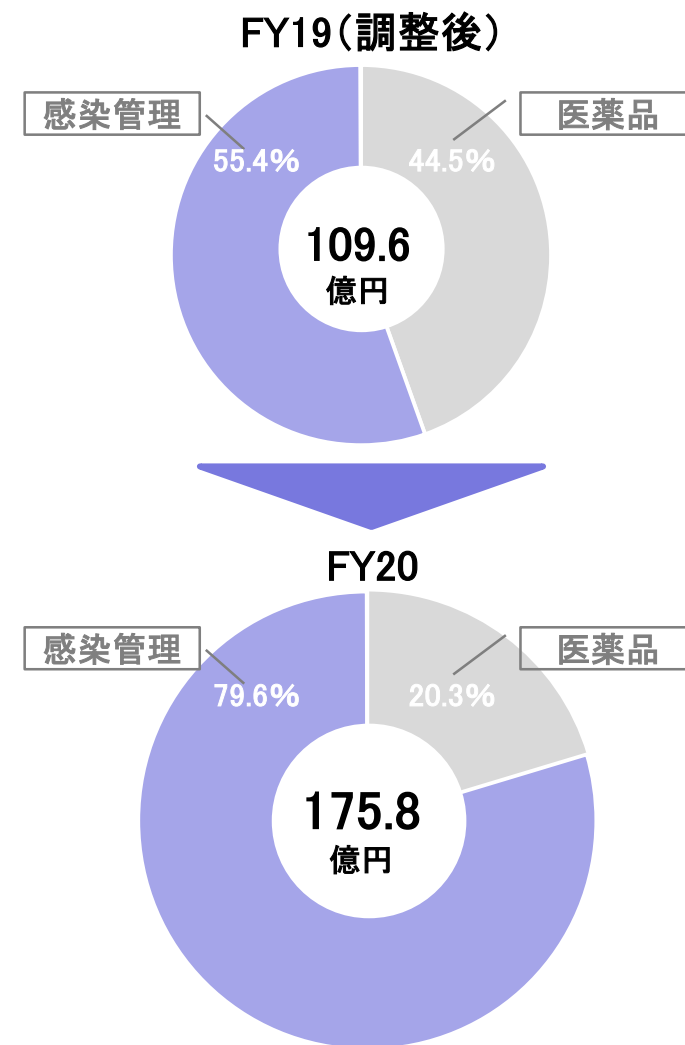
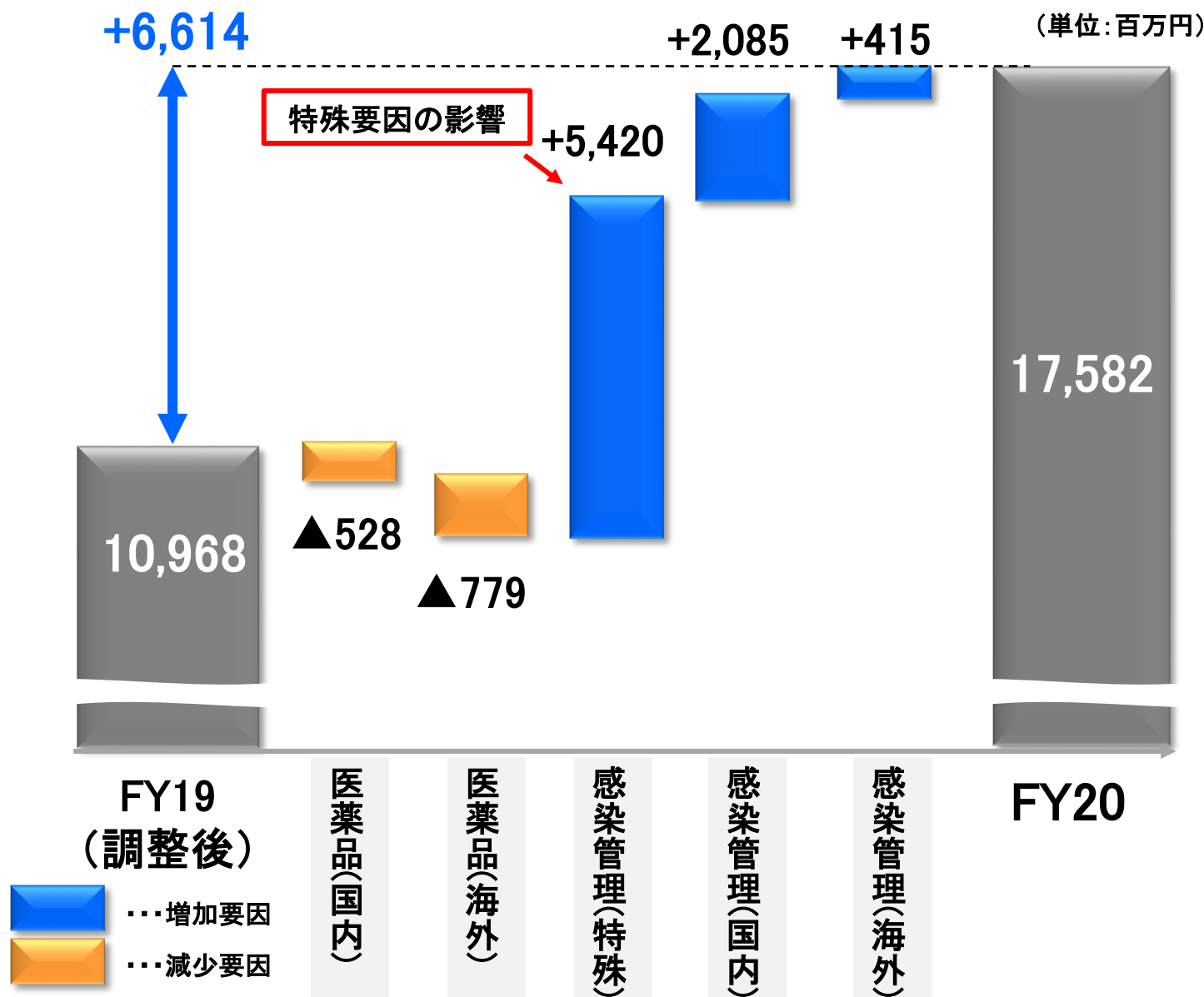
[ウイルス除去市場の推移(1-12月)]



出所: インテージ(ウイルス除去市場)

売上高の増減(FY20)

➤ 医薬品事業が減収となるも、新型コロナウイルスの感染拡大によるウイルス除去市場の需要拡大という特殊要因もあり大幅な増収を達成



※ FY19調整後は国内4~12月の9カ月間、海外1~12月の12カ月間に調整

販売費及び一般管理費

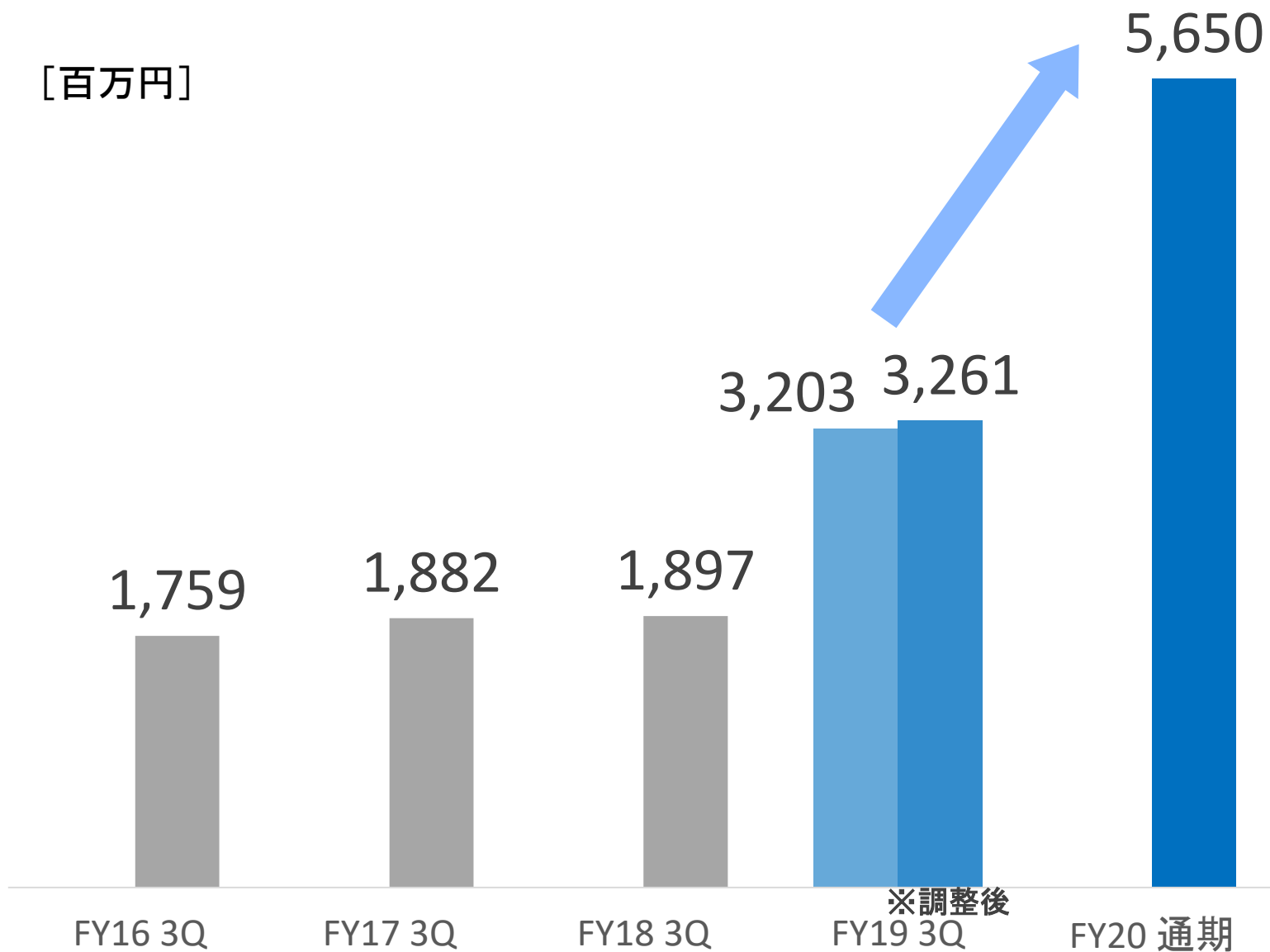
➤ 広告宣伝費等が増加も、増収影響から販管費比率は低下

[百万円]	FY19 調整後前期		FY20 当期		調整後前期比 ②-①	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率
販売費	1,994	18.2%	3,344	19.0%	1,349	67.7%
広告宣伝費	914	8.3%	1,637	9.3%	723	79.1%
販売促進費	834	7.6%	1,131	6.4%	296	35.6%
運送費	246	2.2%	575	3.3%	329	133.9%
人件費	1,293	11.8%	1,648	9.4%	354	27.4%
その他経費	1,174	10.7%	1,777	10.1%	602	51.3%
研究開発費	323	2.9%	374	2.1%	51	16.0%
支払手数料	252	2.3%	640	3.6%	388	153.9%
販管費合計	4,463	40.7%	6,769	38.5%	2,306	51.7%

※ FY19調整後前期は国内4～12月の9ヵ月間、海外1～12月の12ヵ月間に調整

連結営業利益推移

[百万円]

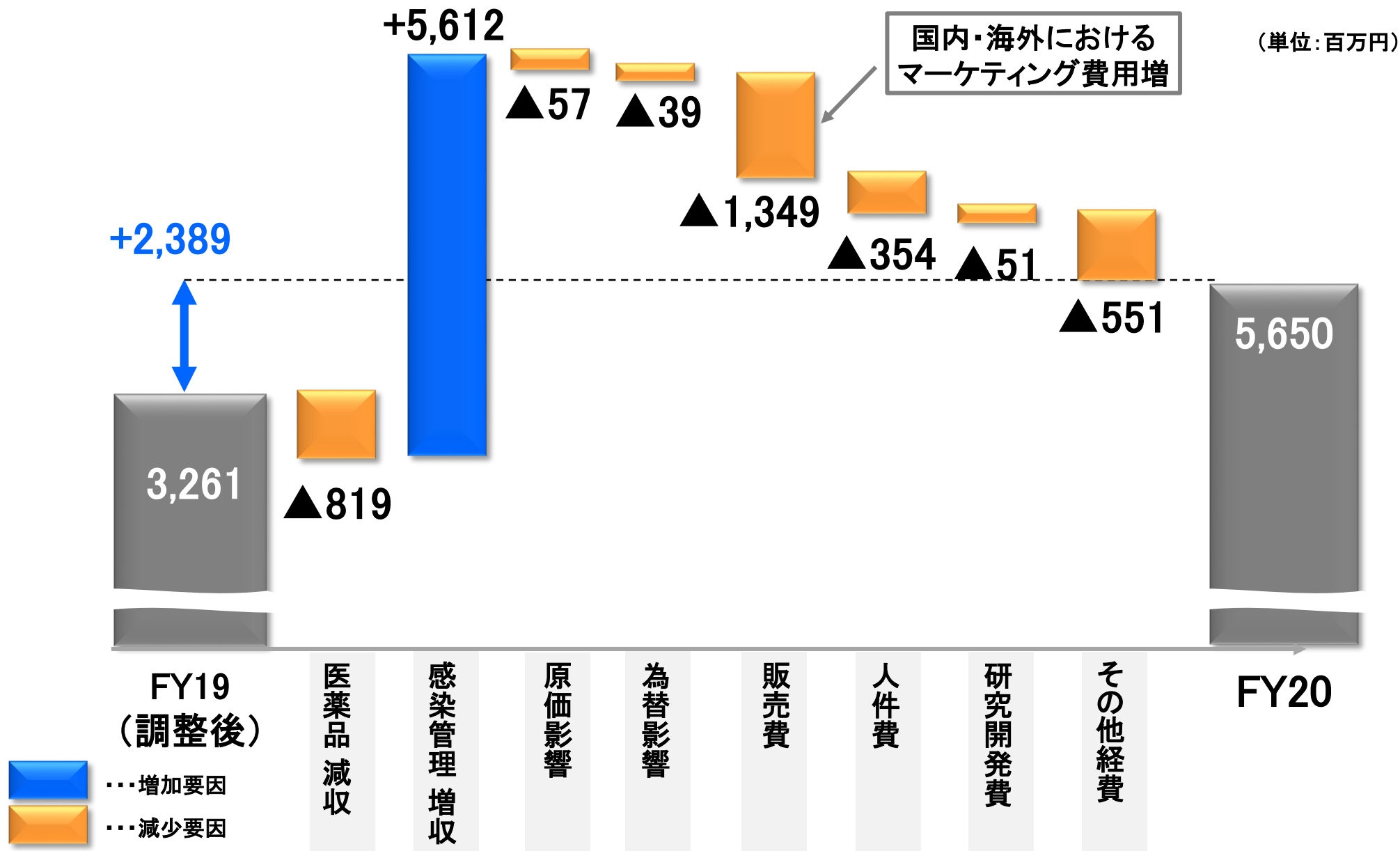


営業利益
調整後前年同期比
1.7倍

※ FY19 3Q調整後は国内4～12月の9ヵ月間、海外1～12月の12ヵ月間に調整

営業利益の変動要因

➤ マーケティング費用を中心とした販管費の増加はあるものの、
感染管理事業の増収により増益



連結財政状態

[百万円]	FY19 期末	FY20 期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	16,584	19,822	3,238	19.5%	
現金及び預金	9,906	4,944	△4,961	△50.1%	※連結キャッシュ・フロー状況参照
売上債権	4,419	7,918	3,499	79.2%	売上高増加
たな卸資産	2,025	6,408	4,383	216.5%	需要増加に備えた増加
固定資産	8,889	11,935	3,045	34.3%	生産能力増強目的の設備投資等
資産合計	25,473	31,757	6,283	24.7%	
流動負債	4,794	7,487	2,693	56.2%	
仕入債務	1,005	2,928	1,922	191.2%	増産に伴う原材料資材等調達による増加
固定負債	1,305	1,488	183	14.0%	
純資産	19,373	22,781	3,407	17.6%	当期純利益の計上等
負債純資産合計	25,473	31,757	6,283	24.7%	
自己資本比率	76.0%	71.7%			

※1 FY19期末は2020年3月末現在、FY20期末は2020年12月末現在。

連結キャッシュ・フロー状況

[百万円]	FY19 前期	FY20 当期	主な要因(FY20)	
営業CF	3,493	△1,516	EBITDA	6,123百万円
			仕入債務の増加	1,943百万円
			法人税等の支払額	△1,419百万円
			売上債権の増加	△3,524百万円
			たな卸資産の増加	△4,380百万円
投資CF	△448	△2,759	設備投資による支出	△2,225百万円
			投資有価証券の取得による支出	△500百万円
財務CF	△581	△649	株式の発行による収入	222百万円
			配当	△845百万円
現金・同等物換算差額	△10	△21		
キャッシュ増減(※1)	2,453	△4,947		
キャッシュ期末残高	9,645	4,698		
EBITDA(※2)	4,319	6,123	営業利益	5,650百万円
			減価償却費	472百万円

※1 キャッシュ増減

= 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

※2 EBITDA

= 営業利益 + 減価償却費

※3 FY19は国内4-3月の12ヵ月間、海外は1-12月の12ヵ月間。

FY20は国内4-12月の9ヵ月間、海外法人は1-12月の12ヵ月間。

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 国内・海外とも売上高減少
- 感染管理事業: 大幅増収増益

[百万円]	売上高			セグメント損益		
	FY19 調整後前期	FY20 当期	増減率	FY19 調整後前期	FY20 当期	増減率
医薬品事業 (利益率)	4,883	3,575	△26.8%	1,683 34.5%	1,144 32.0%	△32.0%
感染管理事業 (利益率)	6,078	14,000	130.3%	2,553 42.0%	5,765 41.2%	125.8%
その他事業 (利益率)	5	7	20.2%	△21 -	△61 -	-
全社(※)	-	-	-	△954	△1,198	-
連結合計 (利益率)	10,968	17,582	60.3%	3,261 29.7%	5,650 32.1%	73.3%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

※ FY19調整後前期は国内4~12月の9ヵ月間、海外1~12月の12ヵ月間に調整

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

➤ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う消費者の外出自粛
インバウンド需要の消失により低調に推移

製品カテゴリー別売上高

[百万円]

	FY19 調整後前期	FY20 当期	増減	増減率
正露丸	1,295	991	△303	△23.4%
セイロガン糖衣A	1,612	1,439	△172	△10.7%
正露丸クイックC	60	53	△7	△12.2%
その他(※)	95	49	△45	△47.7%
計	3,063	2,534	△528	△17.3%

(※) 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」等

当社の国内止瀉薬市場シェア

[店頭小売価格ベース]	FY19 調整後前期	FY20 当期	増減
止瀉薬市場シェア	47.6%	49.4%	+1.8P

出所：(株)インテージ



正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC



ピシヤット下痢止めOD錠

※ FY19調整後前期は国内4～12月の9カ月間、海外1～12月の12カ月間に調整

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

➤ 国内と同様、消費者の外出自粛等の影響を受け低調に推移

地域別売上高

[百万円]	FY19 調整後前期	FY20 当期	増減	増減率
中国	733	321	△411	△56.2%
香港	855	553	△302	△35.3%
台湾	172	120	△51	△29.9%
その他(※)	58	44	△13	△23.7%
計	1,819	1,040	△779	△42.8%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、ベトナム、モンゴル

※ FY19調整後前期は国内4～12月の9カ月間、海外1～12月の12カ月間に調整

セグメント別事業概況(感染管理事業)

➤置き型中心にスティックも需要が増加し「クレベ&アンド」も好調に推移

製品カテゴリー別売上高

[百万円]

	FY19 調整後前期	FY20 当期	増減	増減率
クレベリン(※1)	5,740	12,389	6,649	115.8%
クレベ&アンド(※2)	338	1,610	1,272	376.5%
計	6,078	14,000	7,921	130.3%

(※1)クレベリン 置き型、クレベリン スティック、クレベリンカートリッジ(車両用)
低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリン LED

(※2)ハンドスプレー、ハンドジェル、ウイルス・菌除去スプレー(キッチン用)

クレベリン



Akihiro Yoshida

クレベリン 置き型

クレベリン スプレー



DENSO

Akihiro Yoshida

クレベリンカートリッジ クレベリン スティック
(車両用)

対象顧客別売上高

[百万円]

	FY19 調整後前期	構成比	FY20 当期	構成比	増減	増減率
国内:一般用	4,872	80.2%	11,185	79.9%	6,312	129.5%
国内:業務用	1,072	17.6%	2,265	16.2%	1,193	111.3%
海外	133	2.2%	549	3.9%	415	310.6%
計	6,078	100.0%	14,000	100.0%	7,921	130.3%

クレベ&アンド



ハンドスプレー ハンドジェル

ウイルス・菌除去
スプレー
(キッチン用)

※ FY19調整後前期は国内4~12月の9ヵ月間、海外1~12月の12ヵ月間に調整

次期業績予想

決算期変更による調整について

- 次期(2021年12月期)の業績予想にあたり、当期(2020年12月期)の決算期間を調整

75期-76期 通期 財務報告数値

	2020年				2021年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
国内法人		75期			76期 (次期: 2021年12月期)			
海外法人	(当期: 2020年12月期)							



- 比較参考として76期と同期間の75期を参考数値とする

※75期参考数値は監査法人による監査は受けておらず参考情報。

75期-76期 比較参考用数値

	2020年				2021年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
国内法人	75期			76期 (次期: 2021年12月期)				
海外法人								(参考数値)

FY21通期業績予想

- 医薬品事業、感染管理事業とも増収を見込むものの、
売上原価や販管費の上昇により営業利益は減益を見込む

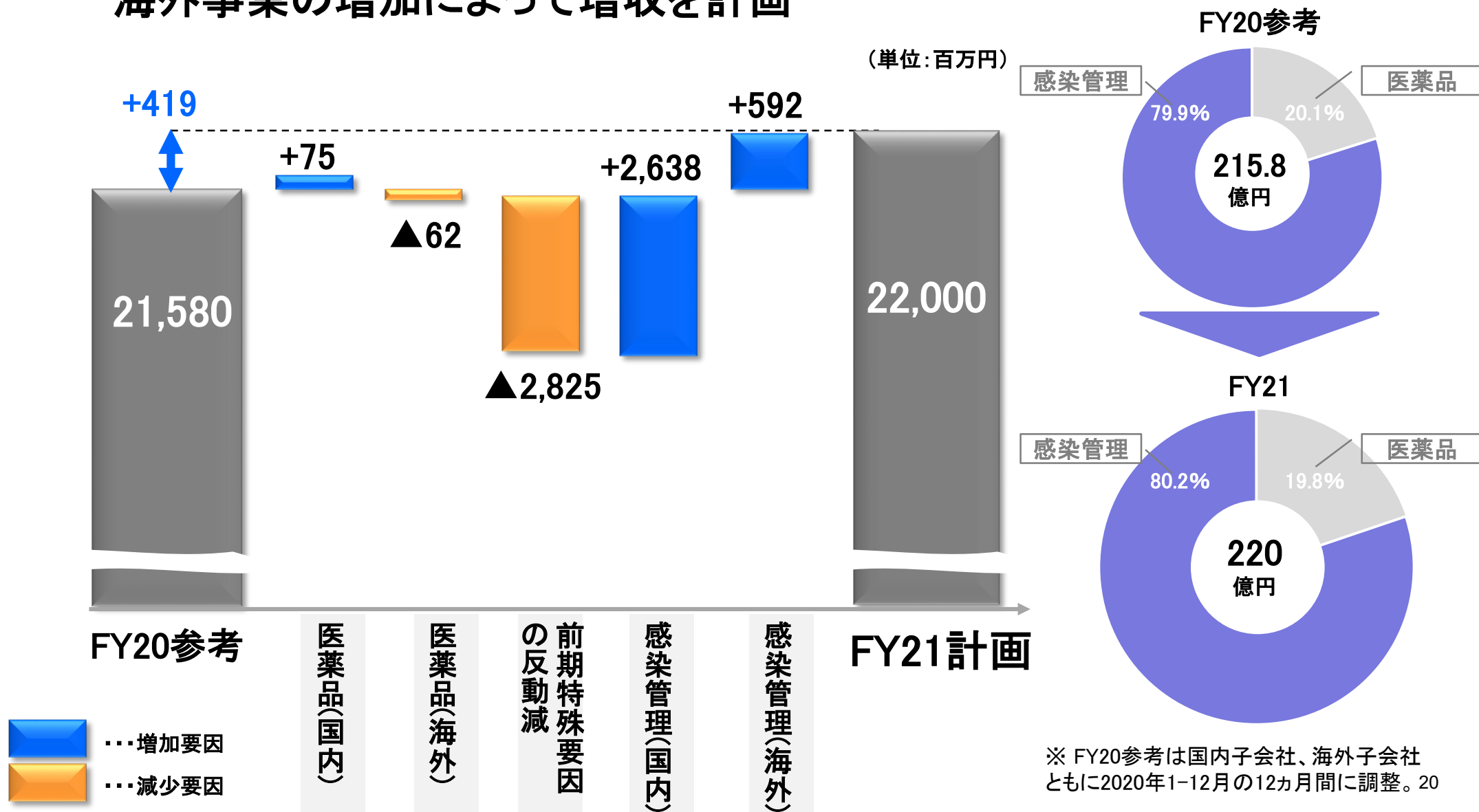
[百万円]	FY20 12月期参考	FY21 12月期予想	増減	増減率	FY20 財務報告数値
売上高	21,580	22,000	419	1.9%	17,582
医薬品	4,337	4,350	12	0.3%	3,575
感染管理	17,234	17,640	405	2.4%	14,000
その他	8	10	1	11.5%	7
営業利益 (売上高比率)	6,199 28.7%	4,500 20.5%	△1,699	△27.4%	5,650 32.1%
経常利益 (売上高比率)	5,951 27.6%	4,400 20.0%	△1,551	△26.1%	5,454 31.0%
当期純利益 (売上高比率)	4,118 19.1%	3,100 14.1%	△1,018	△24.7%	3,851 21.9%

※1 FY20参考は国内、海外ともに2020年1～12月の12カ月間に調整。

※2 FY20財務報告数値は国内4～12月の9カ月間、海外1～12月の12カ月間。

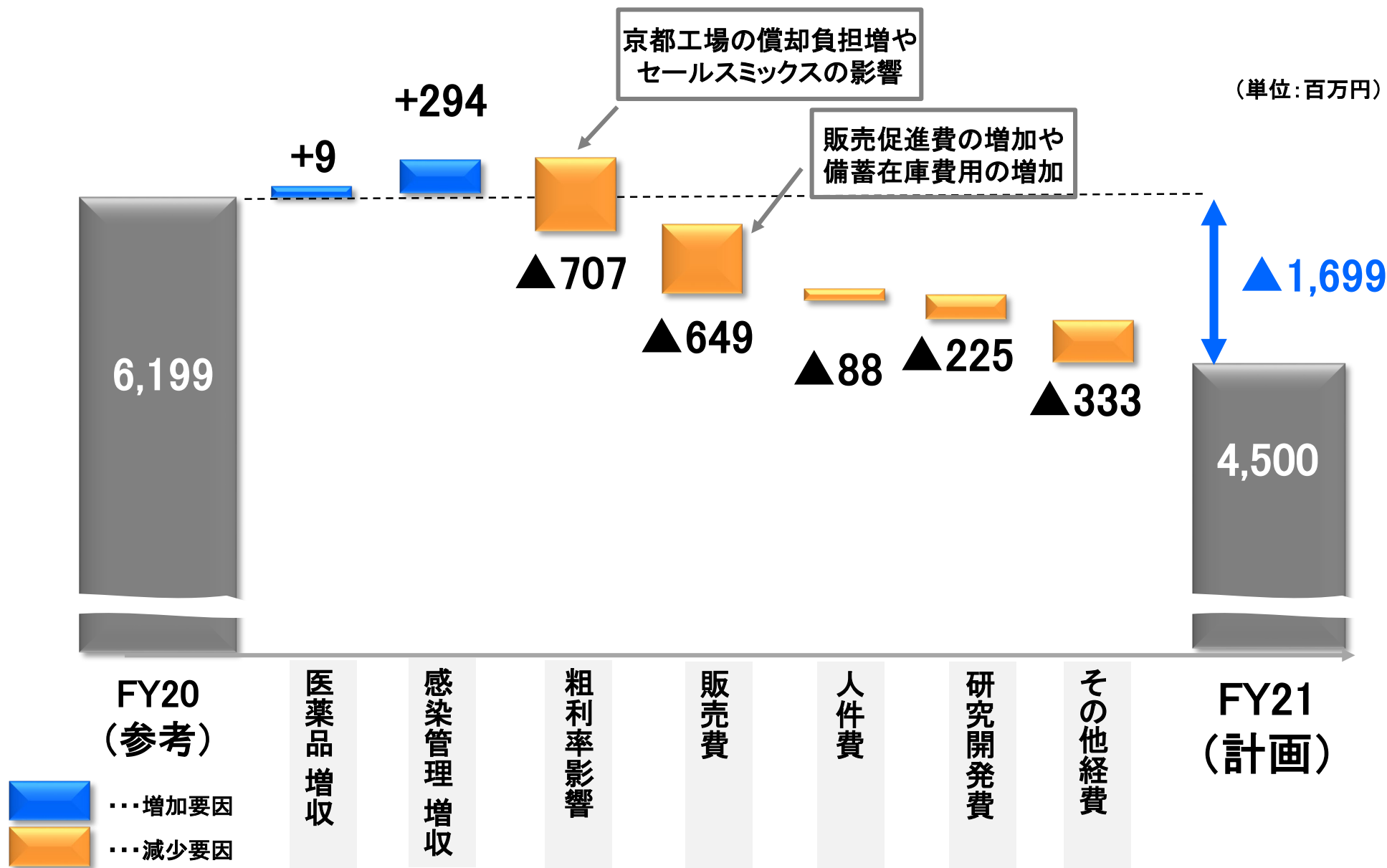
売上高の増減(FY21計画)

- 医薬品事業は引き続き厳しい状況も、下期以降は緩やかな回復を見込む
- 感染管理事業は前期特殊要因の反動減も、新製品の増加や業務用、海外事業の増加によって増収を計画

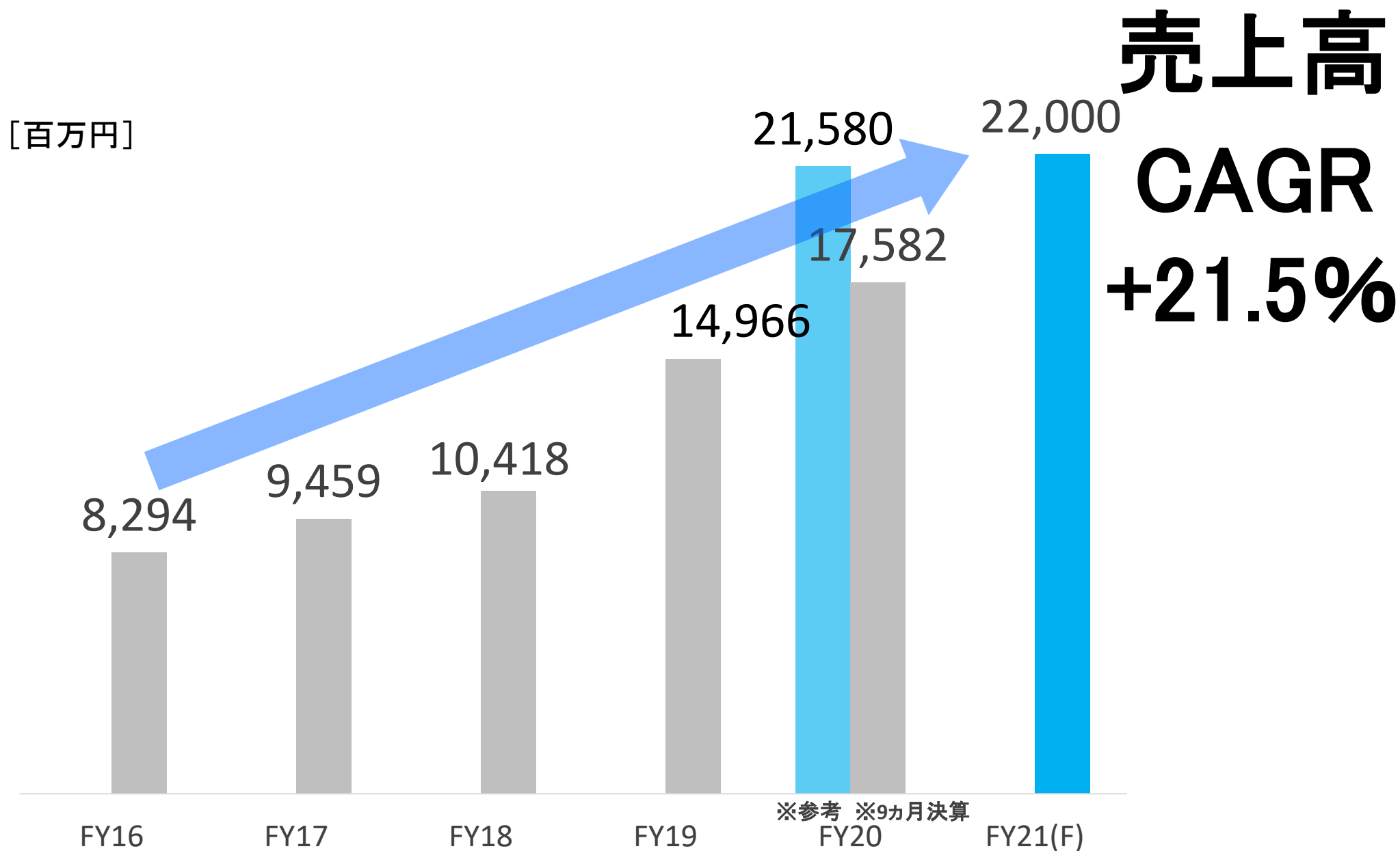


営業利益の変動要因(FY21計画)

➤ 増収によるプラスはあるものの、セールスマックスによる粗利率の低下や各種コストの増加によって減益を見込む

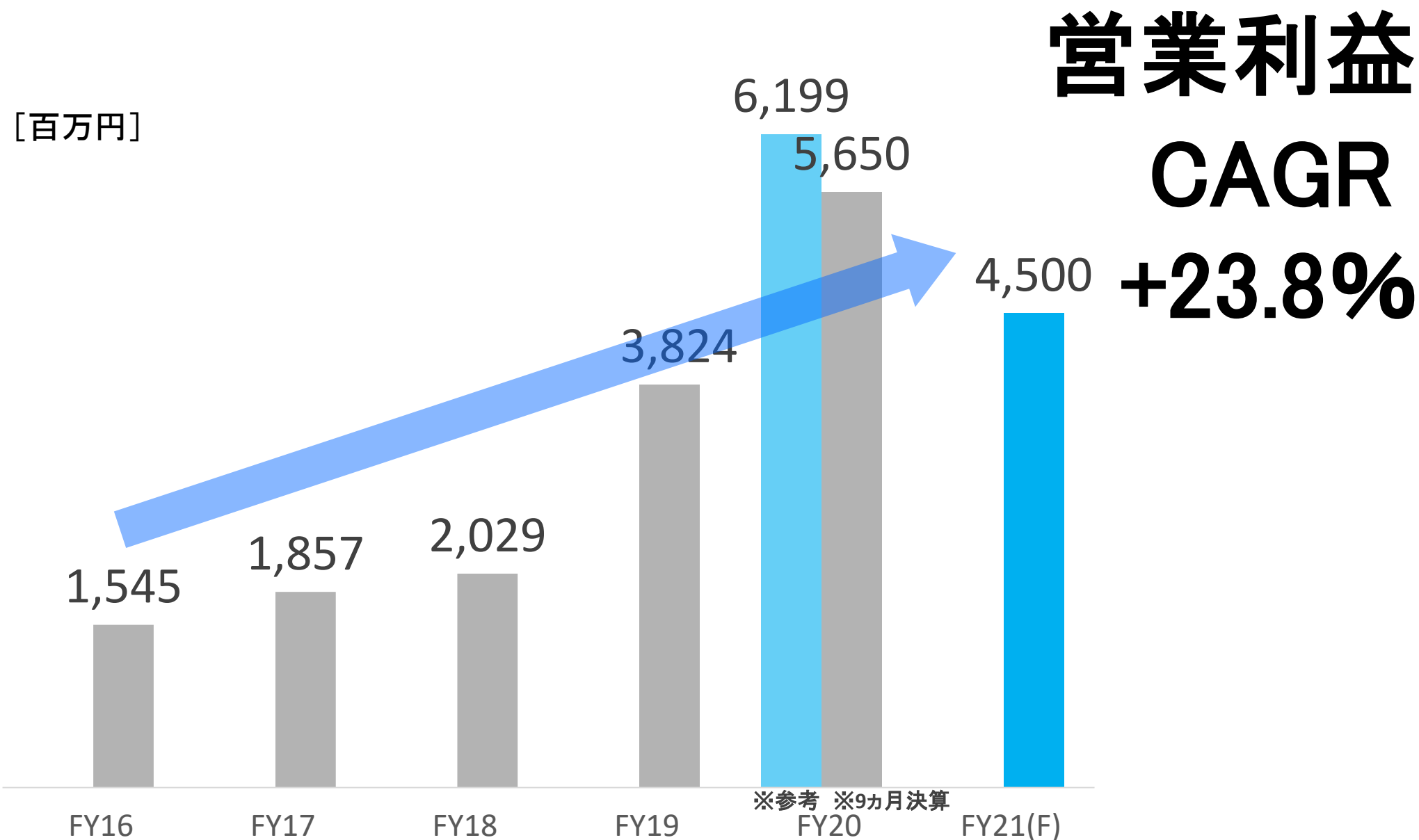


連結売上高推移



※ FY20参考は国内子会社、海外子会社ともに2020年1-12月の12ヵ月間に調整。

連結営業利益推移

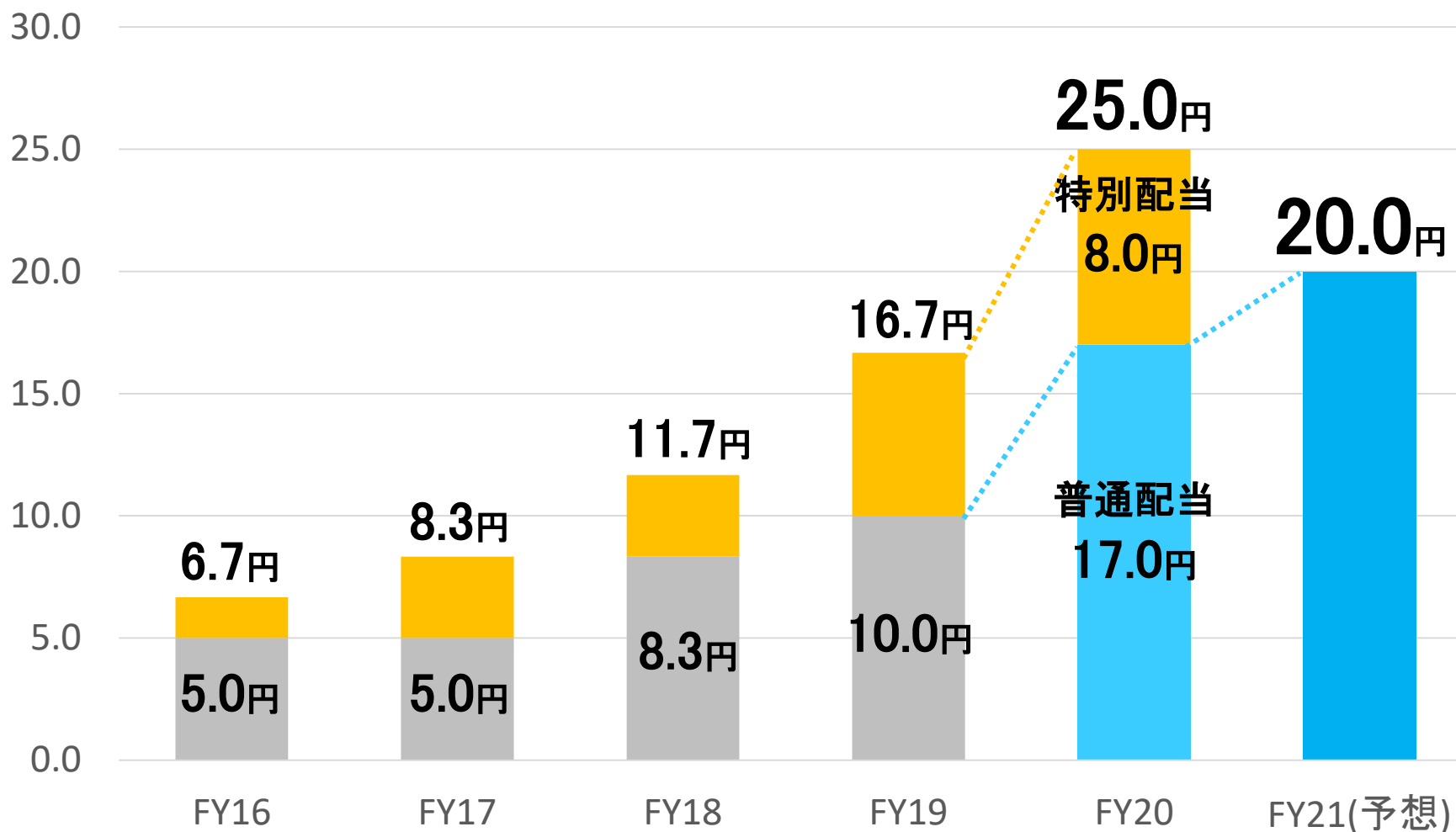


※ FY20参考は国内子会社、海外子会社ともに2020年1-12月の12ヵ月間に調整。

株主還元

- FY20: 修正予想25円(中間7円+期末18円)(内、特別配当8円)
- FY21: 通期配当20円予想

1株当たり配当金(円)



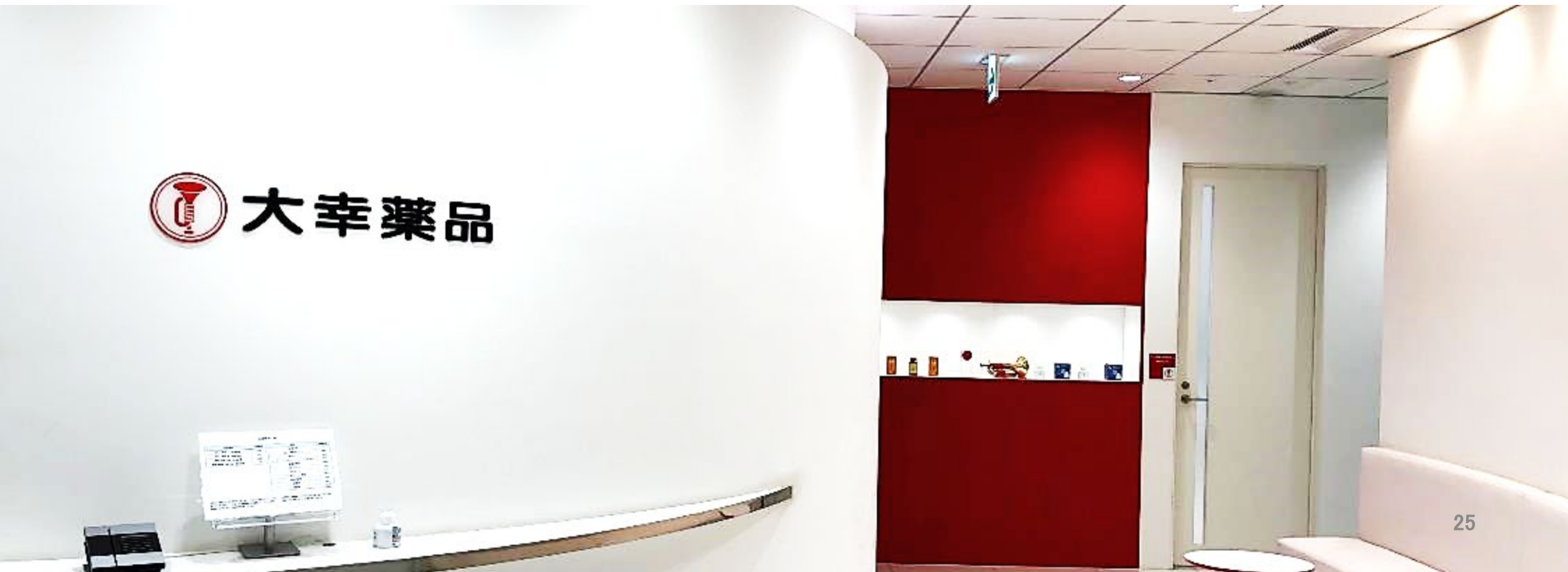
※1 FY20は定時株主総会にて正式決定

※2 株式分割の影響を補正

事業成長に向けた取り組み

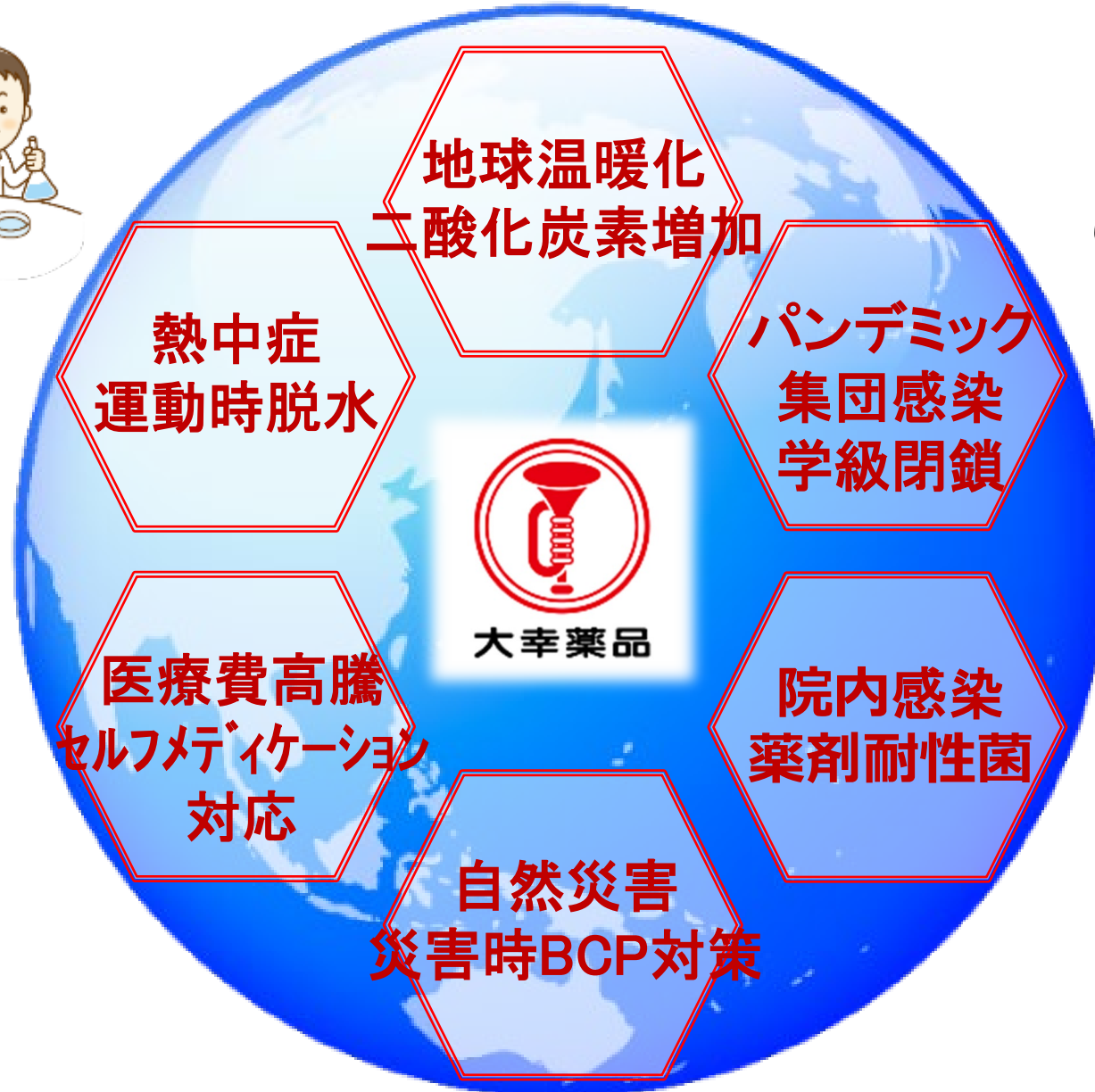
2021年2月

柴田 高 大幸薬品株式会社 代表取締役社長



社会課題と大幸薬品の使命

✓ **医薬品事業と感染管理事業で社会課題の解決に貢献する**



正露丸事業



クレベリン事業

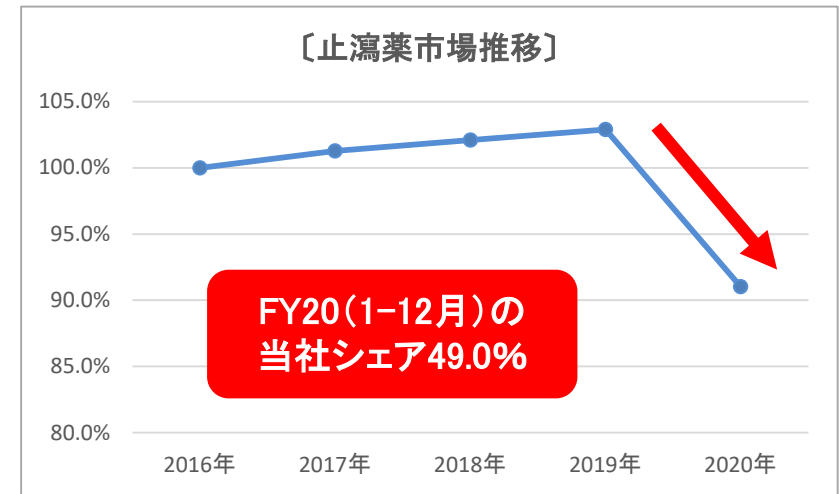


医薬品事業の取り組み

医薬品(正露丸)事業の環境

国内市場

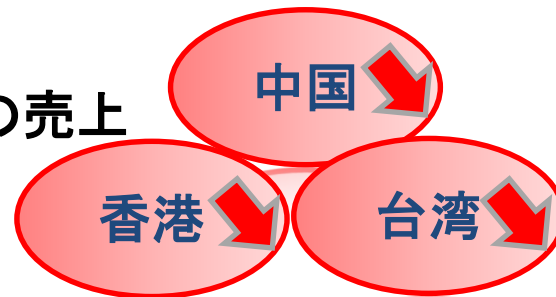
- ✓ 国内止瀉薬市場は、FY20は大きく減少
- ✓ インバウンド需要の消失
- FY21の後半に向けては、緩やかな回復を見込む



※2016年を100%とした場合の市場推移

海外市場

- ✓ 中華圏の正露丸事業の売上が減少
- ✓ 香港ではデモによる小売店の休業等も影響



- 中長期的には引き続きOTC市場の成長が期待される。
- 北米など潜在需要の大きい地域へ新規開拓

医薬品事業の取り組み

殺菌剤から生薬となった「木クレオソート」

	施行・制定年	名称	分類
第17改正 日本薬局方	2016年施行	木クレオソート CREOSOTUM LIGNI	生薬等
一般薬承認基準 (胃腸薬)	2019年改定	木クレオソート	殺菌剤から生薬へ

セロトニン受容体
に作用し下痢や
腹痛抑制

胃で吸収

塩素イオンチャネルに
作用し腸管内水分調整
水分吸収の促進

食あたりの効能
胃アニサキス症への
有効性確認

「木クレオソート」製剤は
他の止瀉薬に比べ、腸管運動抑制や腸内細菌叢
に影響を与えない:全下痢対応

医薬品事業の取り組み

4つの全下痢対応による差別化

- 「木クレオソート」製剤は他の止瀉薬に比べ、腸管運動抑制や腸内細菌叢に影響を与えない

『4つの全下痢対応』



医薬品事業の取り組み

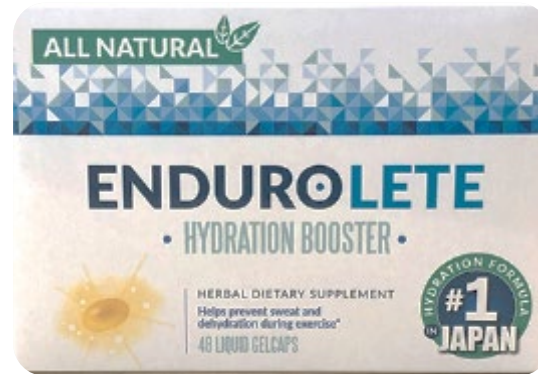
アスリート向け市場に対応

- 2020年3月『正露丸Quick C』が、
医薬品”日本初”のアンチ・ドーピング認証取得

米国でのテスト販売開始



商品名:『エンデュロレート/
ハイドレーションブースター』



＜健康食品機能＞

運動時及び発汗時に体内の水分
吸収を促進し、脱水を防止する

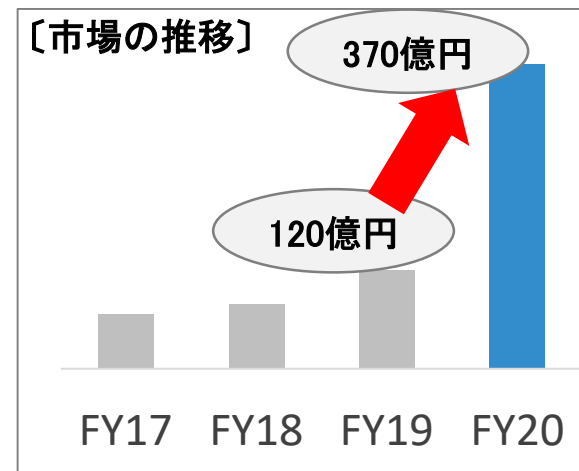
英国LGC社実施の
2つの認証プログラム共に合格
インフォームド・スポーツ インフォームド・チョイス



感染管理事業の取り組み

✓ ウイルス除去市場は急激に拡大

FY20 対前年で約3倍(+207.8%)



※出所:(株)インテージ ウイルス除去市場

〔市場の状況〕

消費者の衛生意識は
引き続き高い水準

- 2020年4月-5月の緊急事態宣言時の急激な需要増加は特殊要因としても、引き続き市場の需要は高水準で推移すると想定

他社参入の増加

- 2020年は他社新商品約40種類以上が上市
- コンプライアンスの重要性の高まり(※)

※一部他社において消費者庁からの行政指導
(景品表示法に違反(同法第5条第1号(優良誤認表示)に該当)するおそれ

感染管理事業の方針 -Goal-

全てのウイルス・菌に対して
 ベストなソリューションを提供し、
 世界に感染症の無い未来社会空間を実装する

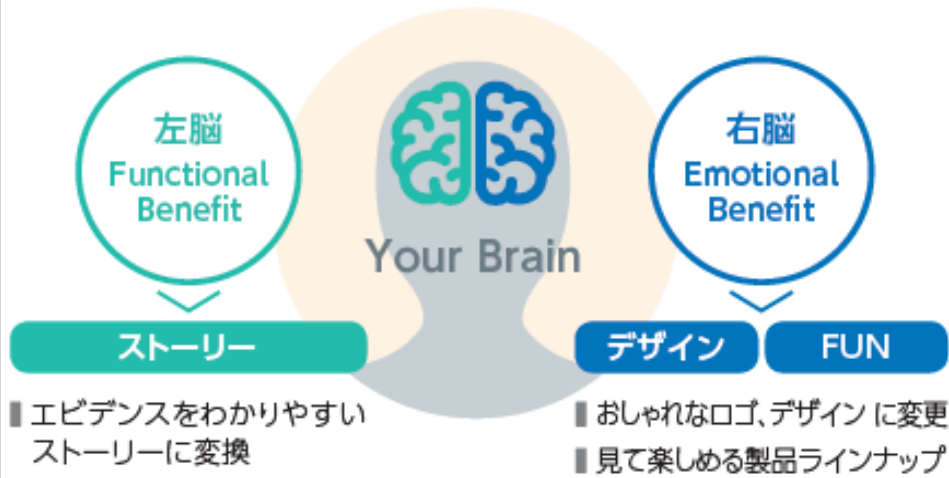
総合除菌ブランドへ



感染管理事業の取り組み-B2C-

総合除菌ブランドに向けた取り組み

右脳・左脳戦略



〔Target〕



➡ コロナ禍においては高齢者層にもターゲットを拡大

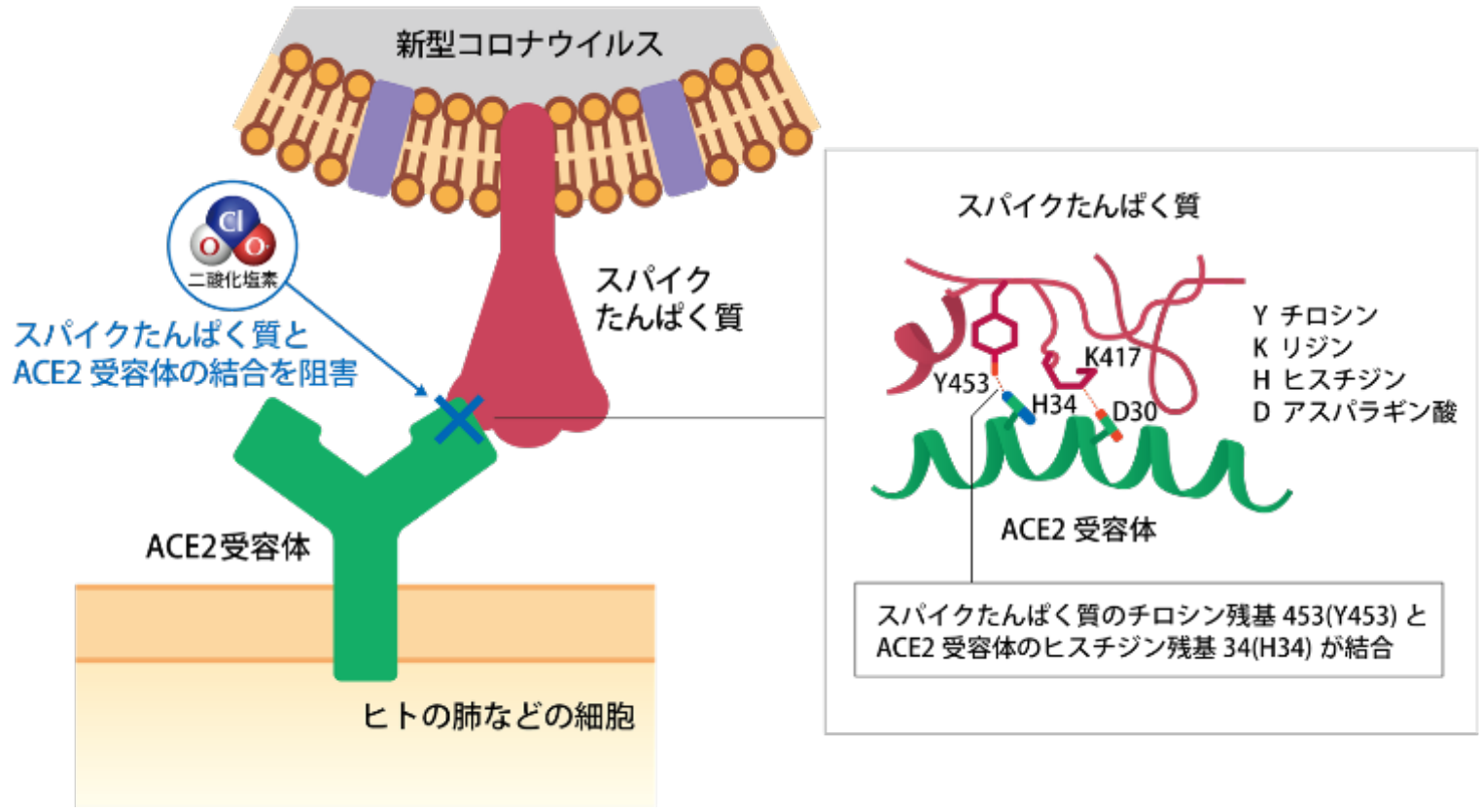
コミュニケーション



感染管理事業の取り組み

新型コロナウイルスに対する不活化メカニズム解明

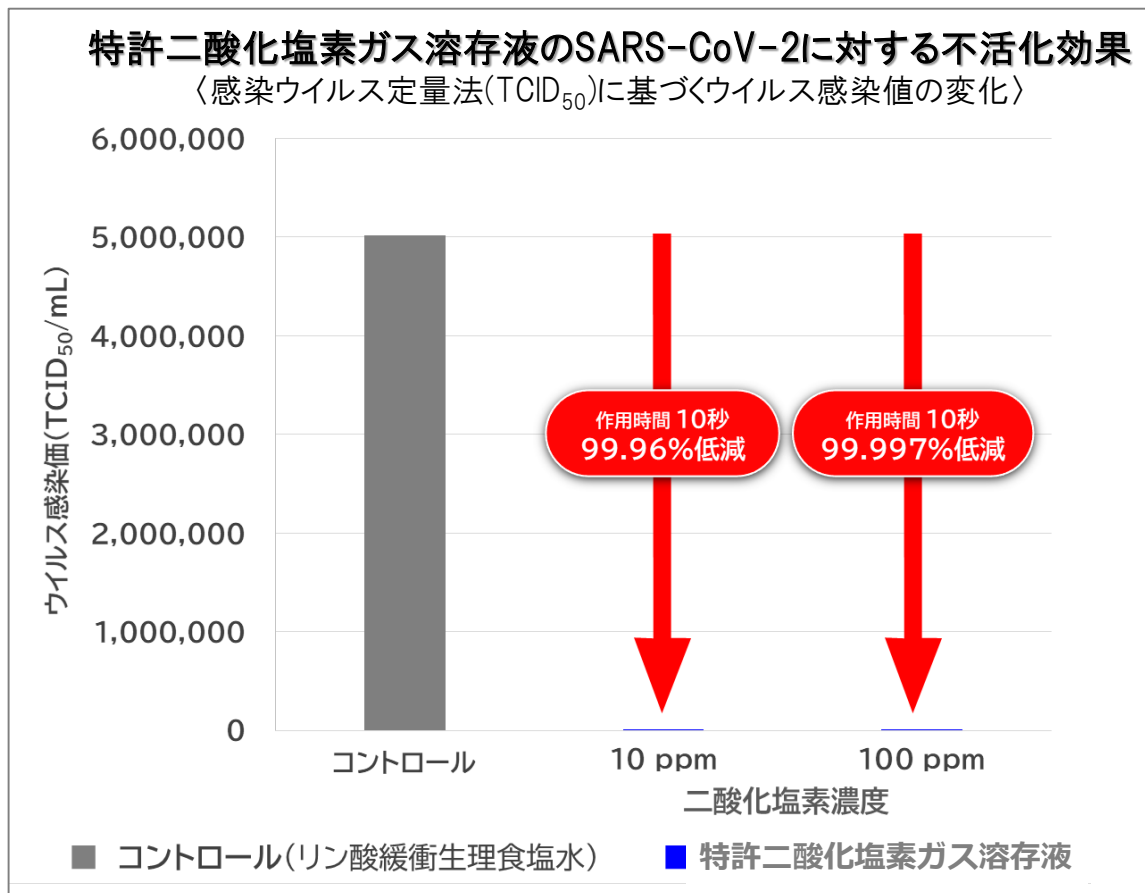
- 二酸化塩素が、ウイルス表面に存在する「スパイクたんぱく質」と宿主細胞の表面に存在する「ACE2受容体」との結合を阻害



感染管理事業の取り組み

新型コロナウイルスに対する効果検証

二酸化塩素の新型コロナウイルスに対する不活化効果を確認
 ～第17回日本小児消化管感染症研究会(2021.2.6)にて大阪府立大学との共同研究成果を発表～






- ✓ 特許二酸化塩素ガス溶存液(※1)での**不活化効果を確認**
 ※1)クレベリンpro希釈用液 大幸薬品製
- ✓ 100ppm(※2)では10秒で**99.99%以上**
 10ppmでは10秒で**99.9%以上の低減**

※2) ppmの単位について: ppm(parts per million)は100万分の1という割合を表します。液体では重量比(mg/L=ppm, 1L水=1kgと近似)、気体では体積比を用います。本試験のppmは水溶液での重量比を表します。

➤ **新型コロナウイルスに対するエビデンスは継続して取得予定**

低濃度二酸化塩素ガスによるクラスター対策 〈感染対策は足し算〉

物体防衛	空間防衛	体内防衛
<p>職場内・家庭内の 感染予防行動の徹底</p>	<p>職場空間・家庭空間の 感染予防環境の管理</p>	<p>ワクチンの事前接種・ 抗ウイルス薬の早期投与の管理</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 手洗いの徹底 ● 2m人との距離をとる ● マスクの着用 ● 咳エチケット <p style="text-align: center;">+</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 〔物体消毒〕の徹底 <p>【即効性】 二酸化塩素液剤による直接除菌</p> <p>【持続性】 二酸化塩素ガス剤による付着菌除菌</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 換気による空間内のウイルスの希釈 ● 室内温度管理によるウイルスの低減 <p>≪湿度50% 温度20℃≫</p> <p style="text-align: center;">+</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 〔空間除菌〕の推奨 <p>【即効性】 二酸化塩素液剤による空間噴霧</p> <p>【持続性】 二酸化塩素ガス剤による空間除菌</p> 	<p style="color: red;">行政や医療機関の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワクチンの事前接種 ● 重症化を抑える 抗ウイルス薬の早期投与 

B2B事業の成長戦略

業務用『クレベリン』 デザインリニューアル

名称も新たに『クレベリンpro』シリーズとして2021年1月より発売

佐藤オオキ氏率いる「nendo」デザイン



クレベリンpro業務用
置き型 約10m²用



クレベリンpro業務用
置き型 約20m²用



クレベリンpro業務用
置き型50m²用



クレベリンpro業務用
スプレー
〔濃度：100ppm〕



クレベリンpro業務用
希釈用
〔濃度：500ppm〕



クレベリンpro業務用
スティックケースタイプ 6本用



クレベリンpro業務用
スティックケースタイプ 2本用



クレベリンpro業務用
スティックケースタイプ つめかえ用



クレベリンpro業務用
スティックペンタイプ



クレベリンpro
cleverin スティックくん蒸タイプ 39

業務用『クレベリン発生機 エレクローラー』新発売



業務用『クレベリン発生機 エレクローラー』

- コンパクト
省スペース設計
- 手間なし
専門技術スタッフの定期訪問(月1回)
設置工事不要, 家庭用電源(AC100V)
充実タイマー機能
- カスタマイズ
実測による二酸化塩素濃度の設定
小～中規模の幅広い空間に対応

**定期訪問メンテナンスで
顧客企業に”快適な空間”を提供**

**3年後には
20～30億円規模を目指す**

B2B事業の成長戦略

チャネル戦略(社会貢献)

✓ 衛生対策で医師・看護師等の医療従事者を支援



ご要望いただいた全国の病院、クリニック等を対象に

総数 **約120,000個**を無償提供

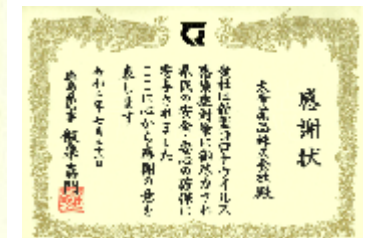
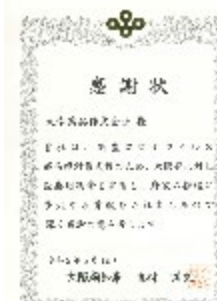
[本件のお問い合わせ先]

大幸薬品株式会社 感染管理事業部 TEL:06-4391-1211

■ 当社のこれまでの支援実績

＜主な衛生対策製品の寄贈先＞

東京都、大阪府、大阪市、堺市、神戸市、奈良県、
和歌山県、京都府、滋賀県、徳島県
大阪市立小学校(170校)、帯広市立小学校(5校)
順天堂大学病院、昭和大学病院、吹田市民病院、
大阪市立総合医療センター、十三市民病院 など



B2B事業の成長戦略

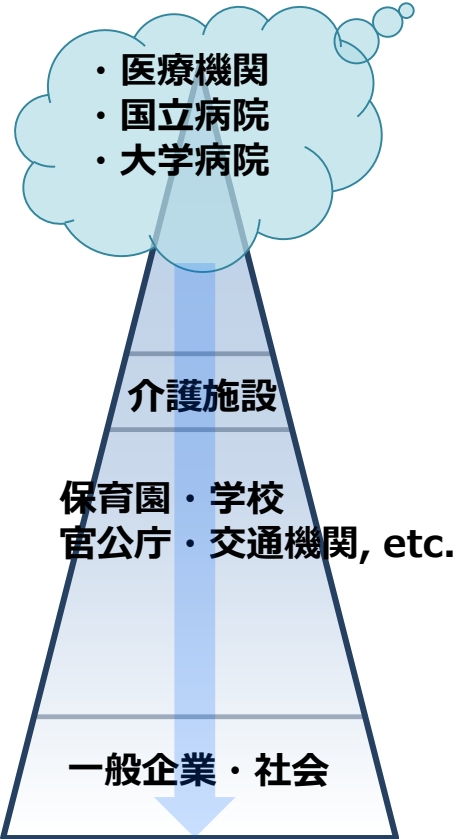
コミュニケーション戦略(SPP)

SPP: Social Product Placement の展開

商品サンプリング

製品価値認知

新規B2B市場創造



投資刈取りへ



B2B事業の成長戦略

✓ あらゆる環境・使用場面に応じた製品ラインナップの拡充により、感染症リスクに対する“ないと困る”の実現へ

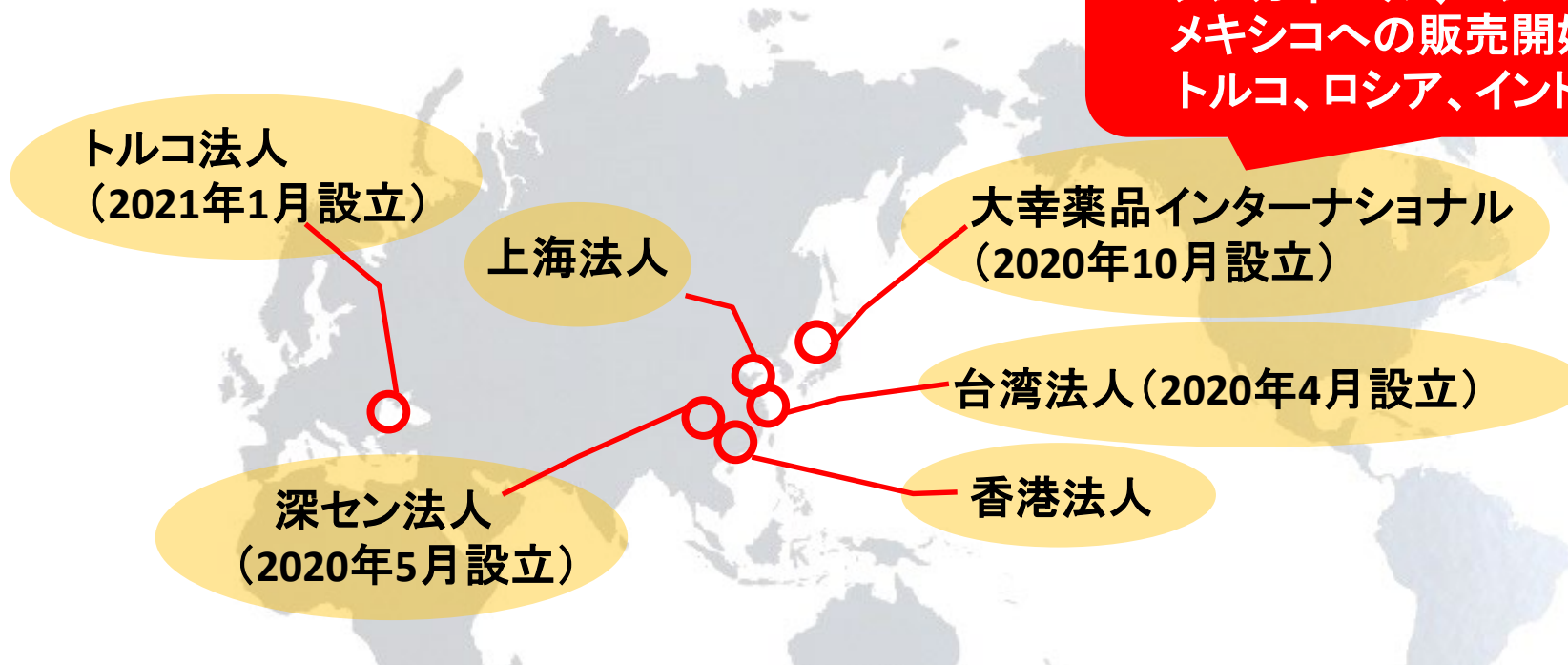


海外事業のクレベリン成長戦略

グローバル展開の強化

- ✓ 香港、台湾、中国の実績: 前期比+300%成長 
- ✓ 大幸薬品インターナショナル株式会社設立

- ✓ 新規開拓地域の統括機能
- ✓ シンガポール、モンゴル、マレーシア、メキシコへの販売開始
トルコ、ロシア、インド等も予定



世界における「クレベリン」の標準化を推進 

EC事業の取り組み

EC販売、デジタルマーケティングの本格化

ふるさと納税向け

■ 2020年12月サイトオープン

- ✓ 当社拠点のある各自治体
(吹田市、茨木市、精華町)と
連携し、ふるさと納税の返礼
品として展開



モール出店

■ 2021年2月サイトオープン



TAIKO-Direct

Coming soon

社会課題に対する取り組み

脱炭素社会の一助を目指す



二酸化塩素ガスによる除菌空間



空調空間への実装



小型モニタリング
センサーの開発

換気回数低減によるエネルギー削減
CO₂削減が可能



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証するものではありません。